

赤穂市保健センター御中
赤穂市健康増進計画事務局様

平成24年11月1日
市民公募委員 宮本一成

赤穂市健康増進計画について

冠省 計画資料頂きました。意見を送付します、よろしくご配慮願います。

1. 赤穂市の国保一人当たり支出が一番であり、高医療費市町村に指定されている現実
に言及していない。(添付-1,2 参照)
アンケートデータを資料にするのも良いが赤穂市の水準が他の地域や国の目指すもの
との評価を忘れると計画・改善にならない。
2. 健康長寿(ロコモ)対策を重視の厚生労働省施策に合致していない。(添付-3~5 参照)
赤穂市地域福祉計画、赤穂市高齢者保健福祉計画が策定・改訂されたが反映されな
かった、この計画は最期の機会と思っています反映したい。
3. 市内小地域(9 地域)の関係資料が無い。赤穂市は環境・文化の異なる町村の合併で成
り立つ。健康増進環境にも地域性は大きな要素と思う。医療費問題を追及するうえで
欠かせないと思っている。是非今回の計画で取り組んでいただきたい。
4. これまで赤穂市の健康増進対策を外から見ていると、教育委員会の体育館事業と健康
福祉部関係の組織の中で行っている事業が見えるが、その全容と効果が見えない。こ
の計画策定の中で確認・評価したい。特に健康長寿事業としての実態を知りたい。運
動は一回30分以上、週2回以上、一年以上という継続して実施しているという定義が
有るようだがそのような事業に合致して行われているか確認したい。
5. 高齢者の健康増進計画に厚生労働省は多額の補助金を投入して老人クラブを支援して
いる。赤穂市の健康増進計画の中で市内の老人クラブがその趣旨に合った存在になっ
ているかを知りたい。地域性を知るうえで興味ある課題と思います。

以上